

文芸コーナー

ALETが覗いた印西市①
ロス先生と印旛地区を歩く



広報レポーター：現王園 秀志(原山)

今回、レポーターとして、外国人の学校の先生と、市内を散策しながら日本文化と自国との違いについて、対談するという企画のもとに、取材させてもらいました。対談相手は、イギリスのスコットランドから来日し、現在印旛地区の小学校で教鞭をとるロス・エイトケンさんという男性のALET(外国語指導助手)で、日本語も堪能な人でした。最初に出かけた所は、印旛支所近くの「あじさい通り」。青紫を始め種々の花の彩りに



松虫姫伝説で有名な「松虫寺」を訪れました

次に、いには野小学校近くにある「松虫寺」という古刹に行きました。この寺は、伝承によると、



見ごろを迎えた「あじさい通り」のアジサイに見入るロス先生



松虫寺の境内で鐘突きを体験

れたそうです。ここではロスさんと一緒に梵鐘を突き、徒みなく漂う音色の余韻を楽しんだり、いにしへのプリンセス「松虫姫」の絵馬や御廟を見ながら松虫姫伝説の話をしたり、その厳かさに浸りました。



瑞宝小綬章 柏木和雄氏(70歳・木刈)

柏木氏は、昭和33年に当時の運輸省に入省。大臣官房調査官、航海訓練所事務局長、運輸研修所長などの要職を歴任。長年にわたり、運輸行政に取り組みました。

その醸し出される雰囲気、騎士道と日本の武士道が重なり、ナイトと侍の共通する精神までも感じてしまいました。紙面の関係で、ここまでしか書けませんが別際にロスさんと「日本の子どもたちをよろしくお願いします」と握手。笑顔の名残り惜しい別れとなりました。

「この支所は、建物も古く、現在のところバリアフリーへの対応など課題が残っていますが、駐車場も広く、ひとつのフロアで、手軽に手続きを行うことが出来ます。毎週土曜日午前8時30分から正午まで開庁しており、住民票・戸籍・印鑑証明発行などの業務を行っています。職員一同、市民のみなさんに気軽にお越しいただける施設を目指して頑張っています」と明るくお話しくださいました。ご協力くださった印旛支所の職員のみなさん、ありがとうございました。

短歌

加藤恵美子選

俳句

五十嵐正雄選

開園後の五年手入の甲斐ありて大き藤棚花どきとなる
われの知る牛の飼主テレビにてワクチン接種の悔しみ語る
青空を突き刺すごとく聳え立つスカイツリーを人つどひ見つ
両足の人口骨も障りなく三年の過ぎわれ今日も生く
山々の若葉を映す碓氷湖はうぐひすの声止みて音なし
庭の木の影濃くなりぬ写真の日
薫風や四囲に山置く天守閣
印旛野にのこる水塚や行々子
鉄線花母の絵手紙上達す
夏潮も琵琶の音となる壇之浦

大森 石塚 浩
木刈 道見 優子
高花 吉川 晴雄
西の原 新井 陽子
小倉台 小澤美美子
岩戸 荒木 コト
小林浅間 榎本聖遊子
内野 葛西 節子
発行 関口千代子
木刈 蘭田 篤生

短歌・俳句をお寄せください
一人一首または一句で未発表のもの。毎月20日締め切り(必着)です。投稿は、住所・氏名(ふりがな)・電話番号を明記の上、秘書広報課広報広聴班まで。



印旛支所

広報レポーター：吉田 淳子(西の原)

市内にあるさまざまな公共施設を紹介する「施設がいど」の第2回目は、松虫寺や吉高の大桜、ナウマンソウ発掘の地などの名所・旧跡がある印旛地区の「印旛支所」をご紹介します。

昭和48年10月に完成した印旛支所は、地上二階・地下一階で、現在は主に一階部分を使用しています。同じ敷地内の分庁舎には、本庁舎改修工事のため教育委員会が入っています。まず、支所入口を入って右手には、市民のみなさんの生活全般に関する、戸籍・健康保険・税・福祉などを取り扱っている「市民福祉課」があり、左手には「総務課」「地域づくり課」、税の収納窓口があります。



印旛支所の庁舎外観



ロビーにはゆったりとした雰囲気です



分庁舎には現在、教育委員会が移動

また、支所内には絵画や旧印旛村ゆかりの品々(岩戸産大杉根株やアテネ五輪に出場した順天堂大学男子体操選手のサインなど)もあります。中には印旛地区の山田出身

で洋画家・狩野寿一(狩野派の末裔で元一水会会員)の作品で、花が描かれている絵画があり、憂いのある佇まいで花瓶に生けてある様子からヨ

ロッパの石畳の街並みを思い出しました。最後にお忙しい中、支所長の大野忠行さんと総務課の鈴木勝巳さんにお話を伺いました。

秘書広報課長